

# 小高さくらサロン ふれあい懇談会会議録 (第2回)

開催日 平成 30 年 7 月 19 日(金)  
9 時 40 分から

開催地 小高老人福祉センター

参加者 16名

---

## 【質疑】

### 【質問1】

7日に小高病院を受診した際、11時01分に着いたのですが、11時で終わりですと言われました。他の医療機関では12時くらいまで診察しています。その日、診てはいただきましたが、もう少し診察時間を長くできないですか。

### 【回答1】

まず、その件に対してお詫び申し上げます。その日に限り医師の出張がありまして、11時までとなっております。通常ですと、午前は受付時間が8時30分から11時30分、診察時間が8時45分から12時となっております。医師が居れば、患者様の状態によっては、時間外でも診ています。

### 【質問2】

受付のところに、「本日の受付は11時までです」と表示してあると親切だと思います。

### 【回答2】

前もってわかるときには、数日前から表示します。

### 【質問3】

1日にどのくらいの患者さんが利用していますか。

### 【回答3】

昨年の平均は、1日14人です。

### 【質問4】

市長さんの小高区に対してのビジョンをお聞かせください。

**【回答4】**

小高区の避難指示区域を解除するときの目標が、平成32年度で4,700人くらいの帰還者を目標に解除しました。現在、解除してから2年が経ちますが、帰還者は2,800人くらいです。このままの見込みですと、平成32年度は3,200から3,300人くらいですので、目標には届かない状況です。

今後、小高区に若い人を増やして人が増えるような対策や、長期的にみて高齢化が進み人口が少なくなっても暮らしやすいまちにするための対策を執りたいと思います。

市全体が同じ状況ですが、小高区の場合は濃い密度で進めていかななくてはいけないと思っています。今年中に、総合計画の後期計画を作りますが、第二弾の加速ということで、小高の商業施設「小高ストア」が12月にオープン予定です。1月には「小高区復興拠点施設」が開所します。

それがあっても、人口4,700人は難しいと思っています。それを見越したうえで、人が暮らしていくためには、ある程度の人数は必要ですので、今後どのような思い切ったことができるのかを考えていきたいと思っています。

人を集めるために、空き家や空き店舗を活用して若い人が何かチャレンジできるような環境づくりや、みんなが集まりたくなるような拠点等を考えていきたいと思っています。皆様のご意見をいただければと思います。

**【質問5】**

年配の人たちはグランドゴルフをしますが、小高にはグランドゴルフ場がありません。試合などができる大きなグランドゴルフ場があれば、まちの活性化にも繋がるのではないかと思います。

また、グランドゴルフに限らず、いつでも参加できる場所があって、皆が集まって楽しく体を動かす機会があればいいと思います。せっかく帰ってきた方々が、元気で長く居られる場所になると、復興のモデルになるのではないかと思います。

**【回答5】**

小高区復興拠点施設で、エクササイズエリアやトレーニングエリアができる予定ですので、何か考えていきましょう。

**【質問6】**

小高老人福祉センターが取り壊しになると聞きましたが。

**【回答6】**

現在、取り壊す計画はありません。

**【質問7】**

青パトの経費はどこから出ているのですか。

**【回答7】**

国の帰還再生加速事業として、交付金を受けています。

**【質問8】**

以前、あるお宅で警報機が鳴っていて、たまたま通りかかった青パトに合図を送るも気づいてもらえませんでした。ただ通過しているだけに伺えます。二人も乗車していて気づかないのはおかしいと思います。警報機の原因は、古く誰もいなくなった家が老朽して雨漏りのため警報機が落ちたとのことでした。

**【回答8】**

青パトの運行については、人が居たときに何か声掛けをすとか、気になるところは降りて確認してみるとか、ただ走っているだけでは駄目という同様のご意見を他でも受けています。

**【質問9】**

最近、耳谷地区で火災が発生しました。福浦地区ですと、若い方がいないので消防団員はゼロに近いです。一個人の考えですが、いつどんな時に火災が起こるかわからないので、地元企業などの会社組織の中で、一時的にでも消防団をつくることができないかと思っています。

**【回答9】**

避難していても、消防団に登録している方がほとんどです。消防団の数としては減ってはいますが、団員は居ます。ただ、訓練等の時に参加するという状況なので、ここに住んでいない人がほとんどです。

区役所でも、自主消防組織を作っています。機能別消防団と言って、消防団を卒業した方に火災予防のPR等の一部分を担ってもらおう方というのもありますので、今後考えていきたいと思っています。

以上